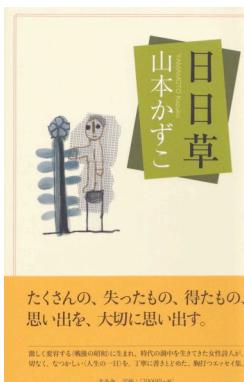


北冬舎

新刊のお知らせ 2011年夏



『日日草 (にちにちそう)』
著者 山本かずこ

四六判上製 212ページ
発行 2011年7月30日
定価 2000円（税別）
発行 北冬舎
取扱い 神保町・八木書店
ISBN 978-4-903792-32-3 C0095

「マンション富士」

山本かずこ

「きみにこれを聞かせよう、そう言って、その人はたくさんあるレコードジャケットから一枚を抜き出すと、かけてくれた。その曲が、ビートルズのナンバーで、「オール・マイ・ラヴィング」だったということはあとから知ったのだけれど、その人はこれまでわたしが生きてきたなかで出会ったどの人とも違うことが、直観でわかった。／その直観は正しかつた。知り合ってしばらくして、その人を見ていると思い浮かぶ人がいた。実在の人物ではなくて、ドストエフスキイの小説『白痴』のムイシュキン侯爵なのだった。あの、無垢な部分が似ている。好きな人を喜ばせることに、汚れも打算もなんにもない。……」

たくさんもの、失つたもの、得たもの、
思い出を、大切に思い出す。

「肉親が眠り 肉親が住むこの故郷の、
雨のあがつた夜の道を車で走るときの
時間が過ぎていくスピードのゆるやかさと
生きている者の溜め息の深さは
嬉しい瞬間にも
哀しい瞬間にも
ずっとつながつてきようまで続いてきたよう
な気がする。」

（詩 「故郷」より）

激しく変容する〈戦後の昭和〉に生まれ、時代の渦中を真摯に生き、表現してきた女性詩人が、切なく、なつかしい〈人生の一日〉を丁寧に書きとどめた、『時代』と『場所』が交響する、胸打つエッセイ集。

◎目次

◇金子橋◇草◇村◇阿南市◇徳島◇黒田アパート◇
ルノアール◇ウェーテレス◇リターン・トゥ・フォード
エヴァー◇十月十三日◇マンション富士◇渡月橋まで◇
入交好保氏◇田中光顯◇東京タワー◇城下町◇
故郷◇飛行場◇妹◇インド◇一文橋◇宇高連絡線◇
日日草◇手紙◇団欒、ほか

著者紹介 高知市に生まれる。詩集に『渡月橋まで』『思い出さないこと 忘れないこと』『いちどにどこにでも』（以上、ミッドナイト・プレス）、『リバーサイドホテル』（マガジンハウス）ほか、多数。小説に『真・将門記 桔梗一輪捧げ申し候』（ミッドナイト・プレス）、エッセイ集に『日日草』（北冬舎）

〒101-0062

北冬舎

東京都千代田区神田駿河台1-5-6 コトー駿河台408

Tel&Fax [03-3292-0350] <http://hokutousya.com/>